

基本目標8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承

- ☞ 郷土の歴史・文化に親しむことで、郷土への愛着や誇りを醸成します。
- ☞ 市民や関係機関と行政が協力し、郷土の歴史・文化遺産の保護、活用を進め、次世代へ継承します。

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	文化財の指定・保護（施策33）	担当課 文化財課
内 容	新たに保護すべき文化財などを見出す調査を行い、指定・保護を進めます。	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年2月17日（火）に小牧市文化財保護審議会において、市内小木地区に所在する3寺院について、所蔵する文化財の現地調査を行いました。 （以下は昨年度の状況。2/17以降に改めて修正記載） ・今年度の現地調査では、正確な制作年代が不明なものや所蔵する寺院との関係が不明瞭なものが多く、指定物件候補となる文化財はありませんでした。 ・彫刻（仏像）では、南北朝時代とみられるもの、江戸時代初期とみられるものなど、制作年代の確定はできないものの、市内には未確認の文化財が多く所在することが確認できました。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・神社や寺院が所蔵する資料以外にも、新たに保護すべき文化財の調査対象を広げていく必要があります。 ・指定候補物件には至らないものの貴重な文化財が現地調査では見つかっており、これらの文化財も保護していく必要があります。 	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の範囲は幅広く種類も様々であることから、市内にある有形・無形の文化財の歴史や価値などについて、パンフレットやガイド冊子をはじめ、市ホームページ、さらに令和8年度にラピオビル4階に新たに開設予定の歴史資料展示施設などにおいて周知に努めることで、文化財の保護・保存の必要性に対する市民の関心や理解を深め、新たな文化財の発掘につなげていきます。 ・現時点では指定までには至らないものの、貴重な文化財を将来的に保存していくため、その価値を明らかにする必要があります。 	
評価委員の意見等	（この欄は空欄です）	

点検評価シート（令和7年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	古文書・歴史に関する講座等の開催（施策34）	担当課
		文化財課
内 容	小牧市の歴史や文化財への興味・関心を高めるため、古文書や歴史に関する講座の開催をはじめ、文化財巡りや歴史資料の展示・解説などを行います。	
達 成 状 況	・小牧の歴史への関心を高めることをねらいとして、「小牧市歴史文化基礎講座」を開催しました。（愛知文教大学委託事業） 対象：一般 受講料：各回300円 開催場所：小牧市役所東庁舎 大会議室（定員各回150人）	
	開催日	内 容
	6月28日 (土)	第1回 講師：愛知県埋蔵文化センター 調査課長 川添 和暁 氏 「尾張のあけぼの～縄文時代の知恵と暮らし～」
	7月5日 (土)	第2回 講師：名古屋経済大学特任教授 赤塚 次郎 氏 「外山銅鐸・三ツ山古墳獣帯鏡から見える風景～小牧・大山川水系の弥生・古墳時代～」
	7月12日 (土)	第3回 講師：名古屋工業大学名誉教授 麓 和善 氏 「小牧山と創垂館の魅力」
・古文書に親しむきっかけをつくることで、歴史への興味関心を高めることをねらいとして、「子ども古文書寺子屋」・「古文書基礎講座」・「古文書実践講座」を開催しました。（愛知文教大学委託事業） 開催場所：まなび創造館学習室（定員20人）		
開催日	内 容	受講者数
7月27日 (日) 8月3日 (日)	「子ども古文書寺子屋」（連続2回） 一筆書きや文字カルタでくずし字の基礎を学び、戦国時代から江戸時代に書かれた書状や書き物を読みました。 講師：小牧市古文書調査会 酒向道夫 氏 対象：小学4年生～6年生 受講料：無料	8人

点検評価シート（令和7年度実績）

基礎講座開催場所：まなび創造館多目的室（定員 40 人）

実践講座開催場所：まなび創造館多目的室（定員 50 人）

開催日	内 容	受講者数
9月6日・ 13日・20日、 27日 いずれも (土)	「古文書基礎講座」（連続4回） 初心者の方を対象に、くずし字や変体仮名など古文書の基礎を分かり易く解説し、百人一首・手紙・武家諸法度・証文・掛け軸など身近な史料を読みました。 講師：小牧市古文書調査会 酒向道夫 氏 対象：一般 受講料：850 円	30 人
1月10日・ 17日・24日、 31日 いずれも (土)	「古文書実践講座」（連続4回） 講師の助言を受けながら、自分の力で古文書を読み解く力をつけることを目指し、江戸時代の講談師がまとめた宝暦郡上騒動の話の読解に挑戦しました。 講師：小牧市古文書調査会メンバー 対象：一般 受講料：850 円	43 人

- ・民俗資料保存施設に保存している民俗資料等を活用し、米作りの農具を中心に昔の農作業の様子や当時の人々の工夫を知る企画展示として、「これな〜んだ?!昔の農業」を開催しました。（愛知文教大学委託事業）

対象：小学生～一般 入場料：無料

開催場所：中央図書館 1階イベントスペース

開催日	内 容	入場者数
8月18日 (月)～24 日(日)	企画展「これな〜んだ?!昔の農業」 農作業の効率が上がるように進化してきたさまざまな農具を展示するだけでなく、絵や写真などで使い方をわかりやすくパネル展示しました。また、探究学習としても活用できるワークシートの用意や、米作りに関するクイズを取り入れ、興味関心を高める展示を心がけました。昨年度好評であった体験コーナーとして、今年度は玄米を突いて白米にする精米体験を行いました。	462 人

- ・小学校で郷土について学習することを受け、さらに発展的に郷土の歴史や地理・公民的内容への興味関心を高めるため、「こまき検

点検評価シート（令和7年度実績）

定」を市制70周年記念事業として開催しました。あわせて、より多くの方にも郷土への関心を高めていただけるようホームページで問題文を紹介しました。（小牧市文化財資料研究員会委託事業）
開催場所：小牧市役所本庁舎 601 会議室（定員 50 人）

開催日	内 容	参加者数
11月3日 (月・祝)	「こまき検定」 小牧市の歴史・地理等に関する検定 (全 30 問中 21 問以上の正解で合格。問題の難易度は小学 5 年生程度) 対象：小学生・中学生 参加費：無料	29 人

・市内各地域に残る文化財を知ってもらい、地域への愛着を高める機会とするため、三ツ瀧の古刹・正眼寺周辺の旧道を巡る講座「文化財巡り」を企画しました。（愛知文教大学委託事業）（定員 30 人）

開催日	内 容	参加者数
11月9日 (日)	「文化財巡り」 雨天のため、予定していた文化財の解説を正眼寺にて行うとともに、釈迦涅槃図写真や誕生仏レプリカを間近で見学しました。 案内人：篠田徹氏ほか文化財地図作成委員 対象：一般 参加費：500 円	20 人

・「城郭建築に恋をして」というテーマのもと、小牧とゆかりのある信長・家康に迫ることをねらいとして「歴史講座」を開催しました。（愛知文教大学委託事業）

対象：一般 参加費：各回 300 円

開催場所：まなび創造館あさひホール（定員各回 300 人）

開催日	内 容	受講者数
11月15日 (日)	第1回 講師：岩崎城歴史記念館 学芸員 内貴 健太 氏 「三河中入と城郭」	147 人
11月22日 (土)	第2回 講師：公益財団法人日本城郭協会 理事 加藤 理文 氏 「小牧・長久手合戦後の徳川家康の城郭戦略」	153 人

・市制 70 周年記念事業として、これまでの史跡小牧山の発掘成果を踏まえ、織田信長や徳川家康にとっての小牧山城の重要性に迫ることをねらいとして特別記念講演を開催しました。

対象：一般 参加費：無料

点検評価シート（令和7年度実績）

	<p>開催場所：小牧市市民会館大ホール（定員 1300 人）</p> <table border="1" data-bbox="488 237 1406 400"> <thead> <tr> <th data-bbox="488 237 663 286">開催日</th> <th data-bbox="663 237 1214 286">内 容</th> <th data-bbox="1214 237 1406 286">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="488 286 663 400">11 月 29 日 (土)</td> <td data-bbox="663 286 1214 400">講師：名古屋市立大学高等教育院教授・ 奈良大学特別教授 千田 嘉博 氏 「織田信長・徳川家康の小牧山城」</td> <td data-bbox="1214 286 1406 400">962 人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内 容	受講者数	11 月 29 日 (土)	講師：名古屋市立大学高等教育院教授・ 奈良大学特別教授 千田 嘉博 氏 「織田信長・徳川家康の小牧山城」	962 人
開催日	内 容	受講者数					
11 月 29 日 (土)	講師：名古屋市立大学高等教育院教授・ 奈良大学特別教授 千田 嘉博 氏 「織田信長・徳川家康の小牧山城」	962 人					
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書に親しむきっかけづくりとして開催する「古文書講座」の受講者は、増加している一方で、「歴史文化基礎講座」の参加者は固定化する傾向にあり、年々減少しています。 ・若い世代が小牧市の歴史に興味を持つきっかけとなるよう、市内に残る貴重な文化財や歴史に気軽に触れられるような機会を増やしていく必要があります。 						
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを対象とした古文書講座について、子どもが興味・関心を持ちそうな戦国武将にちなんだ題材の選定や、カルタなど遊びの要素を取り入れるなど工夫することで、参加者から、「とてもおもしろかった」「楽しかった」という感想が寄せられていることから、引き続き工夫して実施します。 ・大人向けの古文書講座については、地域の歴史に興味・関心を持ち親しんでもらえるよう、地元に残る古文書を題材に取り入れ、実施していきます。 ・歴史基礎講座については、若い世代を中心に市内の歴史や文化財に興味・関心をもってもらうきっかけとなるよう、テーマや講師、開催方法や実施回数などについて、見直しを図ります。 ・市が所有・保管する民具等を活用した企画展については、昔の人々の知恵や工夫を凝らした暮らしの様子を知る機会となるよう、子どもをはじめ、より多くの方に興味関心をもってもらえるようなテーマ設定や、展示内容、体験活動の充実を図り、引き続き実施します。 						
評価委員の意見等							

点検評価シート（令和7年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	史跡小牧山主郭地区整備基本計画の推進（施策35）	担当課 小牧山課
内 容	史跡小牧山主郭地区のうち、令和3年度から進めてきた小牧山歴史館周囲の石垣復元などの史跡整備については、令和7年度の整備により完成する見込みです。また、大手道の整備に向けた発掘調査を引き続き行います。 あわせて、現地を訪れた来訪者が、小牧山城の価値や魅力についてより深く理解できるような整備に努めます。	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小牧山山頂（小牧山歴史館南東側箇所）において織田信長が築いた2段の石垣復元を主とした史跡整備（整備面積約768㎡）を行いました。 ・山頂を取り巻くように築かれた2～3段の石垣等の復元整備が完了したことにより、史跡小牧山の歴史的価値や魅力が顕在化し、より多くの人に、その価値を周知することができるようになりました。 ・織田信長築城当時の石垣や建物の様子をCGで再現し、現在の風景と重ね合わせた音声解説付きの映像を、現地を訪れた来訪者が、スマートフォンでQRコードを読み込んで視聴できる解説板の設置を行いました。（山頂周辺5か所）【市制70周年記念事業】 ・全国の史跡整備に取り組む市町村で組織する全国史跡整備市町村協議会の第60回大会を小牧市で開催し、史跡小牧山の整備状況について、広くPRに努めました。【市制70周年記念事業】 ・山頂周辺の景観向上および樹木の適切な管理のため、樹木の剪定を行いました。【市制70周年記念事業】 ・小牧山の主郭に至る織田信長が築いた大手の登城路において、登城路の構造や、道幅などを明らかにするため、史跡小牧山大手道発掘調査を実施しました（調査面積413㎡） ・調査では、大手の登城路の東脇に石垣によって造り出された平坦な空間や、大手登城路沿いの壁面は、上半は石垣、その下が土と岩盤を人工的に切り立てている構造をしていることがわかりました。また、一部の調査区では、現在の道から約1.5m下に永禄期の両端に石積が築かれている登城路を確認しました。 ・令和7年12月13日（土）に現地説明会を行い、350人が参加しています。 ・令和8年3月末で廃止となる小牧市青年の家の解体・撤去に伴い、その周辺について、史跡としての価値や魅力が顕在化するよう、跡地を含めた周辺整備基本計画を策定しました。 	

点検評価シート（令和7年度実績）

<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣や岩盤の復元整備が完了した箇所については、点検等を定期的に行い、適切な維持管理・補修を計画的に行っていく必要があります。 ・大手道エリアについては、信長の時代と家康の時代など、時代が重層する遺構が確認されていることから、発掘調査結果を精査し、関係機関とよく協議したうえで、適切な復元整備計画を立案し、整備を進めていく必要があります。 ・復元整備したエリアについては、より多くの方に来訪いただき、その価値や魅力を理解していただけるよう努める必要があります。 ・青年の家跡地周辺については、青年の家の解体・撤去後、史跡としての価値向上につながる整備を実現する必要があります。 ・令和2年3月に策定した史跡小牧山の保護にむけての最上位計画である「史跡小牧山保存活用計画」は、策定から6年が経過し、発掘調査結果による新たな知見や現状との相違個所が生じているため、見直しに着手する必要があります。
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岩盤や石垣等の適切な維持管理について、先進事例等を参考に研究・検討していきます。 ・大手道の史跡整備を進めていきます。 ・史跡小牧山の魅力や価値をより分かりやすく伝えられるよう、CGビューアーの増設を含め、より適切な方法を検討のうえ実施していきます。 ・令和8年度に青年の家エリア（青年の家が解体された跡地と創垂館を含めたエリア）の史跡整備に取り組みます。 ・「史跡小牧山保存活用計画」について、自己点検に着手し、改定範囲や方法について検討します。
<p>評価委員の意見等</p>	

点検評価シート（令和7年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	史跡小牧山の歴史的価値や魅力の啓発（施策35）	担当課 小牧山課												
内 容	小牧山城の発掘調査の成果や史跡整備の情報など、タイムリーな企画展示や講座等の開催に努めるとともに、来館者への解説の充実を図ります。													
達成状況	<p>・小牧山歴史館及び小牧山城史跡情報館（れきしるこまき）において、指定管理者である（一財）こまき市民文化財団により下記のとおり各種事業を行いました。</p> <p>●小牧山歴史館企画展（入場無料） 「-緑の宝庫- 小牧山の樹木たち」 期 間 1月17日（土）～3月15日（日） 会 場 1階 無料エリア 来場者数 ●人（総入場者数）</p> <p>●れきしるこまき企画展（入場無料） 「史跡小牧山大手道発掘調査と石垣復元パネル展」 期 間 4月26日（土）～6月11日（水） 会 場 企画展示・資料室 来場者数 3,466人（企画展示・資料室入場者数）</p> <p>「津田応助と小牧山」 期 間 10月15日（水）～12月25日（木） 会 場 企画展示・資料室 来場者数 6,968人</p> <p>「史跡小牧山大手道発掘調査パネル展」 期 間 2月14日（土）～3月22日（日） 会 場 企画展示・資料室 来場者数 ●人</p> <p>●小牧山歴史館事業</p> <table border="1" data-bbox="491 1771 1428 2058"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月20日（日）</td> <td rowspan="3">戦国体験 体験料：無料 定員：なし</td> <td rowspan="3">1,072人 (3月分未記載)</td> </tr> <tr> <td>10月19日（日）</td> </tr> <tr> <td>3月22日（日）</td> </tr> <tr> <td>5月3日（土・祝）</td> <td rowspan="2">小牧山城茶会 一服：300円 定員：各回200名</td> <td rowspan="2">397人</td> </tr> <tr> <td>11月3日（月・祝）</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	内容	参加者数	4月20日（日）	戦国体験 体験料：無料 定員：なし	1,072人 (3月分未記載)	10月19日（日）	3月22日（日）	5月3日（土・祝）	小牧山城茶会 一服：300円 定員：各回200名	397人	11月3日（月・祝）
開催日	内容	参加者数												
4月20日（日）	戦国体験 体験料：無料 定員：なし	1,072人 (3月分未記載)												
10月19日（日）														
3月22日（日）														
5月3日（土・祝）	小牧山城茶会 一服：300円 定員：各回200名	397人												
11月3日（月・祝）														

点検評価シート（令和7年度実績）

毎週土曜日・日曜日	忍者衣装試着体験	●人	
●れきしるこまき事業			
開催日	内容	参加者数	
10月11日（土） ～12月14日（日）	ぐるぐるめぐる！ 小牧山スタンプラリー2025 参加料：入館料のみ	916人	
●れきしるこまき講座・フィールドワーク他			
開催日	演題	講師	受講者数
4月26日（土）	れきしるこまき フィールドワーク 「小牧山がおもしろい！大人のための自然観察会」	清水豊 （自然観察指導員）	19人
7月19日（土）	れきしるこまき ワンコインコンサート「信長も聴いたクラシック音楽～リュートの音色にのせて～」	中川祥治 （リュート奏者）	30人
8月3日（日）	れきしるこまき 親子講座「小牧山城の発掘品にふれてみよう！」	小牧山課職員、 れきしるこまき職員	16人
11月16日（日）	れきしるこまき フィールドワーク「秋の小牧山わくわく史跡体験【こども編】」	れきしるこまき職員	13人
1月10日（土）	れきしるこまき 講座「超現代語訳 小牧山城」	ブロードキャスト！！ 房野史典（吉本興行所属芸人）	57人

点検評価シート（令和7年度実績）

	<p>●れきしるこまきワークショップ</p> <table border="1" data-bbox="488 237 1430 481"> <thead> <tr> <th data-bbox="488 237 724 286">開催日</th> <th data-bbox="724 237 960 286">演題</th> <th data-bbox="960 237 1197 286">講師</th> <th data-bbox="1197 237 1430 286">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="488 286 724 481">12月6日（土）</td> <td data-bbox="724 286 960 481">「戦国武将なりきり体験～ダンボール甲冑をつくろう！～」</td> <td data-bbox="960 286 1197 481">佐野翔平（火縄銃射撃競技選手、「伝統屋暁」代表）</td> <td data-bbox="1197 286 1430 481">15人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	演題	講師	受講者数	12月6日（土）	「戦国武将なりきり体験～ダンボール甲冑をつくろう！～」	佐野翔平（火縄銃射撃競技選手、「伝統屋暁」代表）	15人
開催日	演題	講師	受講者数						
12月6日（土）	「戦国武将なりきり体験～ダンボール甲冑をつくろう！～」	佐野翔平（火縄銃射撃競技選手、「伝統屋暁」代表）	15人						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者数は、令和5年度に歴史館のリニューアルオープンや大河ドラマ「どうする家康」放映の効果で、飛躍的に増加したものの、令和6年度、令和7年度では減少しています。 ・来訪者へのアンケート調査結果では、9割以上が市外からの来訪者で、施設を知ったきっかけは、新聞、テレビ、情報誌をはじめ、施設のHPや口コミなど多岐にわたっており、幅広く情報発信する必要があります。 								
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡小牧山の史跡整備が進んできたことにより、その価値や魅力が、テレビや雑誌などで取り上げられるようになったこと、また、視覚的にもその迫力がより伝えられるようになってきたことから、映像を活用したYouTubeやInstagramなどについても、指定管理者である（一財）こまき市民文化財団とも連携して取り組むなどし、来訪のきっかけづくりに努めていきます。 ・令和8年1月より放送が開始された大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送に併せた企画展示等を開催するなど、タイムリーで魅力的な展示・イベントの実施について、指定管理者と協議し実施していきます。 								
評価委員の意見等									